

2012年12月26日

外務省日本NGO連携無償資金協力「ザルカ県ハシミーヤ市における青少年のための「職業訓練センター」の設立・運営事業」フェーズ2における事業内容説明写真

事業期間：2011年12月19日～2012年12月18日

1. 職業訓練プログラム実施

ハシミーヤ市が管轄する The Modern Village を事業地として、フェーズ1に続き職業訓練センターを開校し、各種職業訓練プログラムを実施した。

【PCコース】

ICDL、Webデザイン、GraphicデザインといったPCコースを開講した。



左：PC講師の下、ICDLクラスを実施する様子。随時質疑応答を行って実践的なスキルを養った。

右：Webデザインクラスの様子。

【英語コース】

参加者のレベルに沿って初級・中級レベルの2クラスを設置し、文法、会話、ライティング、リーディングを組み合わせ、実践的な能力の向上を目指した英語コースを3ターム計7クラス開講した。



左：初級クラスの様子。講師が文法の基礎とともに、会話練習・長文読解を取り入れ、総合的な英語力の向上を図った。

右：中級クラスの様子。

【機械修理コース】

事前テストを実施し、参加者の事前知識レベルを測った上で、携帯電話修理、PC・プリンター修理、及び中古バッテリー再生・太陽光発電クラスを3ターム計8クラス開講した。



左：PC修理クラスの様子。初日に講師がPC修理の概要を説明し、参加者は熱心に耳を傾けた。

右：携帯電話修理クラスの様子。携帯電話の修理方法について、講師が参加者一人一人にきめ細かい指導を行った。



中古バッテリー再生・太陽光発電クラスの様子。日本人バッテリー専門家、講師および参加者でバッテリー再生技術に関して活発な質疑応答が行われた。

2. 就業支援プログラム実施

a. 企業訪問

開講コースに関連した企業を訪問し、そこで働く人に業務内容や必要とされるスキル、適性等、仕事についての情報を聞く仕事内容説明セミナーを実施した。

【PC コース：ICDL クラス】



左：Umniah company を訪問し、通常業務の内容、職場の様子に関して、PC スキルを業務で日常的に使用する担当者と ICDL クラス参加者で活発な質疑応答が行われた。

【英語コース】



右：The Jordan Times を訪問し、通常業務の内容、職場の様子及び新聞の読み方について、英語初級クラス参加者に対して丁寧かつ有益な説明を行った。

【機械修理コース：携帯電話修理クラス】



左：NOKIA Company を訪問し、携帯修理部門の同年代の担当者が業務内容や職場の様子を説明し、携帯電話修理クラス参加者は現在のクラスが仕事に繋がることを実感した。

【機械修理コース：PC 修理クラス】



右：Lake company を訪問し、担当者が修理に使用しているツールや PC パーツの説明を丁寧に行った。

b. 就業支援セミナー



c. 女性エンパワーメントセミナー



左：経験豊富な講師が効果的な履歴書の作成方法や面接の受け方を説明し、参加者は熱心に聞き入った。
右：南シューナの現地 NGO アルジャワースレの代表が商品開発及び収入創出活動を継続し社会進出が可能になった経験談をセミナー形式で語った。

3. 情操教育とリーダーシップ育成プログラム実施

【ストレスマネジメントプログラム】

ストレスに対処し、不安を解消する方法を学ぶ、ストレスマネジメントのワークショップを開講し、就業後も精神的に安定した生活を得られるようサポートを行った。



左：針金と粘土を用い今までの人生を点と線で自由に表現した。完成後、参加者は皆の前で発表した。
右：演劇発表会に向け、参加者のアイデアを元に作成した台本の読み合わせを行った。



男性参加者による演技。演劇発表会にて感情を的確に表現し迫真の演技を行った。

【リーダーシップ育成プログラム】

参加者の中で特に意欲がある者を対象に、インターン生として、センターの運営や各種ワークショップの企画・実施において責任を担う役割を与えた。



カウンター業務を担うインターン生が来訪者に職業訓練センターやプログラムについて説明した。